

春日台だより 第41号

令和6年12月24日
綾瀬市立春日台中学校
校長 吉田 勉

～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ からだ 精神と身体^{こころ からだ}の健康な人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

2学期終業式での校長先生のお話を掲載します。

『思う』こと

皆さん、お早うございます。

長かった2学期が今日で終わります。皆さん、お疲れさまでした。先生方も、お疲れさまでした。



2学期には、春日台中学校の「三大祭り」と言われる行事がありました。

まず、皆さん一人ひとりが自主的に行動して活躍した体育祭。次に、生徒会や有志の皆さんが輝いた春綾祭。そして、どの学年どのクラスも、一人ひとりが自分の行動に責任をもって主体的に取り組んだ合唱祭。どの場面においても、皆さん一人ひとりが、それぞれにもっている良さや能力を精一杯出し切ろうとする意欲を感じることができました。

さて、あと一週間ほどで令和6年、2024年も終わり新しい年を迎えます。間もなく始まる新しい一年を、皆さんはどんな一年にしたいか、考えていますか？

明日から始まる冬休みの間に、新しい一年（令和7年、2025年）には何を頑張りたいか、どんなことが出来るようになりたいか、何に挑戦（チャレンジ）しようか、どんな自分になりたいか、必ず「思う」ようにしてみてください。そして、思ったことが出来ている自分の姿を想像してください。

「思う」ということは、とても大切なことだと私は考えています。思わなければ、何も行動できません。何かを頑張ったりチャレンジしたりしようとするときには、必ず具体的に何をしようか「思う」ことが必要なのです。

特に、来年3月には中学校を卒業し、自ら選んだ進路へ歩み始める3年生の皆さんには、自分の将来の姿をできるだけ具体的に「思う」ことをしてほしいです。そして、その「思う」姿に近づくために、義務教育最後となる3学期をどのように過ごしていきたいのかということを考え、一日一日を充実させてほしいと願っています。

新しい一年を迎えるお正月には、今年は何を頑張りたいか、どんなことが出来るようになりたいか、何に挑戦（チャレンジ）しようか、どんな自分になりたいか、必ず「思う」ようにしてみてください。